

# 久工大だより

## 主要記事

1面 表紙

3面 就職関係

2面 学長・後援会会長挨拶  
新任教職員あいさつ

4面 キャンパスニュース

## 第80号

発行・編集

久工大だより編集委員会

久留米市上津町2228-66

TEL (0942) 22-2345 (代表)

FAX (0942) 21-8770

<https://www.kurume-it.ac.jp>

## くるめ光の祭典「ほとめきファンタジー」点灯式

11月19日(金)に久留米の冬の風物詩、くるめ光の祭典「ほとめきファンタジー」の点灯式が行われました。

六角堂広場のスクリーンにリモート参加の皆さんの笑顔が点火スイッチとなり、笑顔そのものが花火(プロジェクション)となって次々に打ちあがりました。本学の情報ネットワーク工学科工藤准教授率いる工藤研究室と九州大学病院TEMDECの協力で制作され、今年はCGの「光の計算」の部分を学生達が改良し、前年よりもさらにバージョンアップしての演出となりました。花火終了後はイルミネーションや光のオブジェなど光に包まれた街並みとなりました。

ライトアップ期間:2021年11月19日~2022年1月10日 17:00~24:00



司会を務めた大学院1年生 菊政 弘晃さん



場所:西鉄久留米駅



場所:西鉄久留米駅



明治通り



# 就職関係

## 就職活動に関して

2023年卒業予定学生向けの採用活動がいよいよ動きだしました。本格的な採用解禁は2022年3月1日ではありませんが、企業によつては夏秋インターンシップ参加学生に対して、会社説明会や面接を年内に実施しているという現状があります。大学としてもこういった状況に対応し、早い段階から履歴書やエントリーシートの添削、面接練習はもちろんのこと、その他様々な支援を行っています。

また、昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響を受け、学生の就職活動は一部制限を受ける形になりました。企業によっては、新卒採用を見送る企業もあり、学生は志望業界や志望企業の変更を余儀なくされるケースもありました。その際も個別で細かく対応し、できるだけの学生の要望にあつた企業との「マッチング」を心がけて行ってきました。学生との距離が近い久留米工業大学だからできるこの強みを今後も活かしていきたいと思っています。

2022年2月には新型コロナウイルスの影響で2年間中止にしていた「学内合同業界研究会」を約90社の企業にお越しいただき対面を実施する予定です。この業界研究会セミナーに参加して頂く企業は「久留米工業大学の学生を採用したい」という強い意思を持つこの「業界研究会」は内定を獲得する大きなチャンスなのです。学生にはこの機会に1社でも多くの企業の話聞いてもらい、ぜひ内定に繋げて欲しいと考えています。またこれまで通り、遠方での会社説明会や採用試験に参加する際の交通費支援や資格取得に係る支援も継続して行っています。

## 進路決定者の声

内定先…ヤマハ発動機株式会社



自動車システム工学専攻2年 高橋 明

私の就職活動において、重要だと感じたものは動き出しの速さと情報収集能力です。就職活動は個人戦であると思われがちですが、如何に周囲から早く情報を得られるかがカギとなつてきます。私自身、大学院に進学しましたが、就職活動は学部3年生の夏から始めており、インターンシップや企業説明会に足を運んでおりました。その頃から企業の情報を集めたり、直接体験することで自分の進路をある程度定めることができたと感じています。今年度の場合、非情にも新型コロナウイルスの蔓延により、就職活動が思うようにできない時期もありましたが、キャリアサポートセンターや先生方に相談し、オンラインの説明会にもたくさん参加しました。企業によつて必要とされている人物像や能力が変わつてきますので、しっかりと対策を練つて試験や面接に挑んだ結果、希望を叶えることができたのだと感じております。

私から一つアドバイスを送るとすると、どの企業でも私たち学生に雇用という形で投資するわけですから、そこで何をしたいのか、どういう貢献ができるのかを明確に提示でき

は他の学生と差ができると思います。できる限りはやく動きだし、情報を一つでも多く集めることが大切だと思います。

内定先…アイリスオーヤマ株式会社



機械システム工学科4年 村岡 訓至

企業の採用活動の時期がコロナウイルスの影響で早くする所が多いとネットなどの情報を見て、就職活動は3年生の前期から始めました。前期で自己分析をして自分の性格、将来の自分はどのようなのか、友人などからはどのような見られているのかを聞き、自己分析をしました。マイナビやリクナビなどを利用して企業の福利厚生、求める人物像などの情報収集を行いました。対面の合同企業説明会などにも参加しました。後期からはインターンシップや採用試験に挑みました。インターンシップは、先輩社員との座談会、グループワークをしてグループごとに発表して先輩社員の方々にフィードバックを受けました。インターンシップに参加して企業で働くイメージが出来ました。エントリーシートの作成や面接指導では、就職活動をサポートしてくる所を利用していませんでした。就職活動は一人でしないで大学や就職活動をサポートしてくれる所を利用することが大切だと思います。

## 令和3年度進路面談会実施

令和5年卒業予定者(工学部3年、大学院1年)を対象としました進路面談会を11月27日(土)に実施しました。

昨年度はコロナ禍の影響で、電話で保護者との面談を行いました。今年度は感染予防対策を踏まえた上で本学内で実施しました。

今回は、保護者123名、学生177名が参加され、各学科の教員により進路についての個別面談を行いました。



## 第3回「社長のかばん持ち体験」インターンシップ実施

「社長のかばん持ち体験」は、本学と筑後信用金庫との連携協定に基づく支援事業の一つで、通常のインターンシップと異なり、地元企業の社長または経営幹部と2日間行動を共にして行動や発言に直接触れ経営者の考え方や日々の仕事を体験するものです。

今回、6名の学生が参加しました。8月に事前準備研修を行い、地元中小企業6社において2日間の派遣研修を実施。その後、報告会に向けたプレゼンテーション研修及び練習会を行い、12月8日(水)に本学100号館内において報告会を開催いたしました。学生6名は個性を生かした報告



告書を作成し、1人5分ほどの発表を行いました。関係者40名を目前にして、学生からは緊張感が伝わってききましたが、全員素晴らしい内容で見事大役を果たしました。



## 就職支援

### 就職活動交通費支援について

就職活動は交通費・宿泊費等、多額の費用が掛かります。本学では、就職活動に係る学生の皆さんの負担を少しでも軽減するために交通費支援を行っています。

申請対象	①採用試験 ② 企業単独の会社説明会 ※インターンシップ、合同企業説明会等は対象外
対象者	工学部3・4年生、大学院1・2年生 ※学内サイトに入力し、キャリアサポートセンターで事前に所定の手続きを済ませた者
支援期間	◎工学部3年、大学院1年…2/1~3/31 ◎工学部4年、大学院2年…4/1~翌年3/31 ※予算がなくなり次第、支援終了となります。
支援回数	1人2回まで申請可能

### 支援地区

- ◎九州・山口地区  
長崎・大分・宮崎・鹿児島・山口=5,000円、  
福岡県は北九州市のみ=5,000円、  
佐賀・熊本=3,000円、沖縄=30,000円
  - ◎中四国・関西地区=20,000円
  - ◎中部地区=25,000円
  - ◎関東地区以東=30,000円
- ※企業より交通費が支給された場合(一部支給を含む)は、この支援は適用できません。

【問合せ先】キャリアサポートセンター(就職課)100号館2階 TEL 0942-22-2272

# キャンパスニュース

## 学生応援キャンペーン

新型コロナウイルス感染症の影響によりアルバイト等の収入が減少したなど、経済的に困窮している学生が多いように思われます。

そこで、久留米工業大学学生食堂にて学生を支援するため、「学生応援キャンペーン」を実施しました。令和3年11月29日(月)から12月24日(金)までの期間、日替わり丼をキャンペーン価格にて提供しました。ボリューム感のある日替わり丼を安価で食べることで、この企画は学生から好評で、キャンペーン期間中は多くの学生に食堂を利用して頂きました。

## 食糧無料配布実施

新型コロナウイルス感染症の影響を受け生活に困窮している学生を支援するため、令和3年11月30日火に久留米工業大学体育館において食糧無料配布を実施しました。

当日は約100名分の食糧を準備しておりましたが、15分ほどで全て配布し終えるほど多くの学生の皆さまに足を運んで頂きました。

今後も様々な形で困窮する学生の支援に取り組んでまいります。



## クラブ・サークル活動再開

これまで、新型コロナウイルス感染症の影響により学生のクラブ・サークル活動を自粛しておりましたが、福岡県内の新規感染者数が減少している現状を踏まえ、感染防止対策を充分に行った上で学生の活動再開を進めています。学生もこれまでの自粛活動から解放され、徐々にクラブ活動を再開しております。

## 阿修羅喫茶プレオープン

建築設備工学科 3年

平田 葉

私たちASURAは地方公共団体や企業との共同プロジェクト、公共空間を利用したイベント企画、古民家のリノベーション、学生コンペ等の現在8プロジェクト、総勢約60人で活動しています。

令和3年10月23日(土)には、「肥前浜宿重伝建選定15周年事業」建物活用コンペのプレゼンテーションへ参加し、最優秀賞を頂きました。ここでは、3棟の建物を宿泊施設及び日本酒の提供を核とした飲食店とする活用案を提案しました。

また、イベント企画ではASURAの中にある阿修羅喫茶というプロジェクトを行っています。このプロジェクトは、コミュニティ形成のための場づくりとして店舗化を目指すというものです。その阿修羅喫茶が、令和3年11月24日(水)から11月28日(日)に六角堂広場を活用し、プレオープンを5日間行いました。



## 吹奏楽部 演奏会実施

教育創造工学科 3年

前田 智捺

吹奏楽部が、10月に活動を再開してから今年度初めての演奏会を令和3年11月26日(金)に学内で行いました。このイベントはコロナ禍で元気がない人や活動が出来ていないサークルが活動するきっかけになればと考え開催しました。

コロナ禍であるため1年近く演奏が出来ていませんでしたが、演奏会での皆さんの楽しそうな様子を見て開催してよかったです。この演奏会ではサークル紹介も含め、音楽の楽しさを知ってもらえる良い機会になったと思います。この演奏会の映像は校内のポスターに記載しているURLにて令和4年1月まで視聴可能です。



## 学生フオーミュラ日本大会2021 自動車技術会 会長賞受賞

交通機械工学科 4年

徳永 廉

学生フオーミュラプロジェクトは令和3年9月7日(火)から11日(土)までの期間にオンラインにて開催されました。「第19回学生フオーミュラ日本大会2021」において、「自動車技術会 会長賞」を受賞しました。

本大会はコロナウイルスの影響により残念ながら動的審査は中止となり、静的審査(書類審査のみ)の開催となりました。

コロナウイルスの影響により活動ができませんが、このような賞を取ることが出来たことにより、日程管理の重要性や開発段階での目的や目標を立てることが出来ることを知ることが出来ました。

また、来年度に向けてモチベーションの向上にもつなげることに出来ました。



## セントラルワシントン大学へのバッチャル留学

機械システム工学科 2年

阿邊 歩香

私は夏休み期間中の4週間、セントラルワシントン大学へのバッチャル留学プログラムに参加しました。最初の2週間は世界の自然や文化などについて、次の2週間では日本の文化や食事についてプレゼンテーションやディスカッションを行い、コミュニケーションスキルやプレゼンテーションスキルを高めることが出来ました。

最初の週の最後には、Job Interviewを行い、実際に受け答えをしました。最後の週では、それぞれのグループが行っているAIを使った問題解決についてのプレゼンテーションを行いました。当然のことながら全て英語で行われました。初日は英語が聞き取れるか、話すことが出来るのかなどとても不安でしたが、リアルな英語に触れ、楽しむことが出来ました。このプログラムに参加した事で、多くのスキルを身に付ける事が出来たとともに、もつと英語を使えるようになりたいと思いました。



## 日本での生活

情報ネットワーク工学科 1年

## サエマホマドリリン サエマホマドリフウジ

私は久留米工業大学に入学するため、令和3年3月に久留米市へ引っ越しました。大学に入学する以前は、3年ほど福岡市に住んでいました。福岡市と比べると久留米市は少し不便だと感じることはあります。しかし、大学から近く、通学する時間は5分ほどであるため、勉強する時間を多く確保することが出来ます。また、私はイスラム教徒であるため、食糧が出来るものが限られており、苦労することもありますが、久留米市での生活に徐々に慣れてきました。

## e-Sports愛好会結成

交通機械工学科 1年

部長 堤 斗来

私たち、eSports愛好会は今年度入学した1年を主として結成しました。自宅でゲームの技術を磨いて、久留米工業大学の代表として各大会等やイベントなどに参加してみませんか?何かやってみたい事やeSports大会に出場したいなどの気持ちがあれば全力でバックアップいたします。皆さんの参加をお待ちしています。



## 令和4年4月 久留米工業大学学生寮 リニューアルオープン

令和3年度に、全体的に老朽化が進行していた学生寮の大規模改修工事を実施いたしました。外装や内装を一新するとともに、これまでの学生寮にはなかったキッチン、洗濯室、トレーニングスペース、ラウンジ、そして学習スペース等を設けました。学生寮の入寮については、原則として遠方からの入学希望者で入学年次の1年間のみの入寮としています。久留米工業大学学生寮はこれからも快適で安心安全な学生寮を運営していきます。

